

市民協働大学「バンドウミライ楽考」

名産品講座「坂東市の名産品にふれよう」渡米した日本初のお茶」

9月25日、観光交流センター秀緑 休憩棟で、坂東市の名産品である「さしま茶」をテーマにバンドウミライ楽考の講座が開催されました。

講座は、坂東市協働のまちづくり推進委員会の企画・運営により行われ、坂東市茶業組合、日本茶インストラクター協会、茨城県支部から講師を迎え、日本茶の伝統的な製法である「手もみ製法」の体験を行いました。

日本茶として初めて海外の輸出に成功した「さ



講座の様子を動画で見ることができます。
(坂東ちゃんねる) ▼



出来上がった「さしま茶」の試飲では、時間をかけて作り上げたお茶の深みを味わうことができ、「さしま茶」の魅力を改めて感じる講座となりました。

「さしま茶」の歴史に触れ、「手もみ製法」の実演を間近で見学。体験では、最も難しい工程である「もみきり」の作業にも挑戦し、匠の技の素晴らしさを体感しました。

郷土館ミュージズで好評開催中

企画展「肅祭寶の世界 生誕120年記念特別絵画展」

いずれの会派にも属さず、文人画調の独自の画風で人気を博し、「孤高の画家」と称された肅祭寶(しゅくさいほう)さんぼう明治35年(平成6年)の生誕120周年を記念した回顧展が開催され、多くの見学者が市内外から訪れています。

人気画家として60年近い画業一筋の人生を送ってきた肅祭寶。平成元年には、「知友」としてともに画業に邁進した唯一の弟子・中山正男氏を頼り、東京から境町に転居。平成6年に91歳で逝去するまで、萬蔵院



肅祭寶「仙客嘉童」

(生子)で個展を開くなど地元文化人等とも交流し、数多くの作品を残しました。会期は12月25日(日)までとなります。この機会にぜひ肅祭寶の世界に触れてみてください。

